

土壤浄化のエコサイクル(株)

オリックスと提携

これまでに全国500か所以上の工場用地で土壤浄化を手掛けてきたエコサイクル(株)は、2019年、多角的金融業のオリックス(株)と資本提携を行い、連結子会社に。従来の土壤浄化からさらに一歩進み、オリックスネットワークを活用して、浄化後の土地の活用や、売却先の紹介といった、『次の収益につながる提案』をクリーニング業界に向けても行っていく。

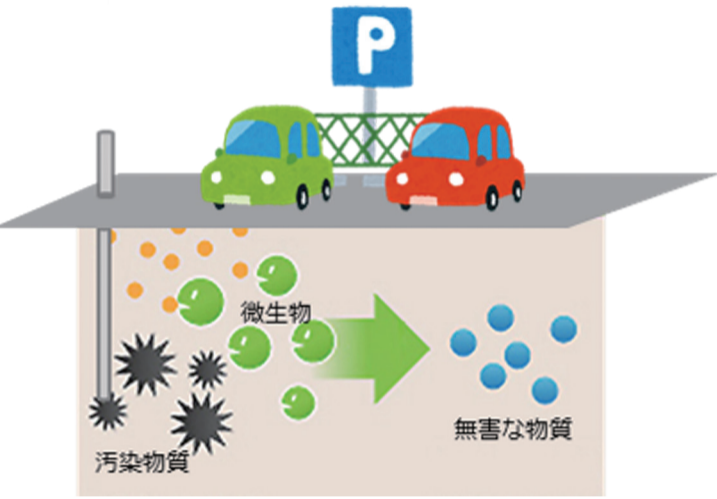
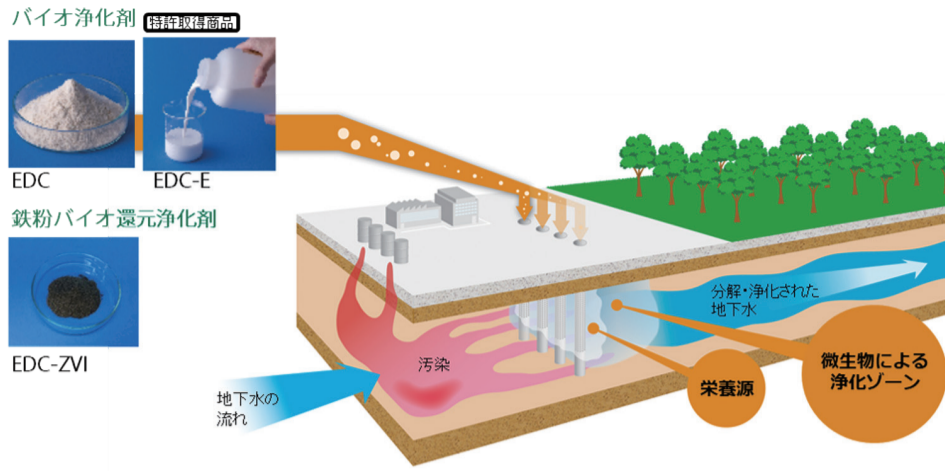
浄化後の土地・不動産で新たなビジネスも

クリーニング業界でも昨今、工場の移転や売却があるいは建物の老朽化により建て替えを検討する業者が増えているが、土地売却時などに問題となるのが、地下の土壤汚染。過去にパーク溶剤などを使用してきた工場は土壤汚染の調査を行い、法に基づいて浄化対策を取らなくてはならないが、一般的に「費用が高い」「工期が長い」というイメージを持たれており、また、「浄化を行っても希望通り土地が売れる見通しが立たない」と二の足を踏むケースも多いという。エコサイクル(株)は、主に化学・石油化学・自動車・重金屬・印刷・社・東京都中央区、シユとしてクリーニングの工場の汚染を低コストで浄化し、不動産売買での高評価され、これまで手掛けた汚染案件は全国で500か所以上にあり、微生物の力を活用して汚染を無害な物質へと分解・浄化することができ、また、「ク



土地転用の事例は、マンションやコインランドリーなどさまざま(写真はイメージ)

▶原位置浄化の施工イメージ図。汚染現場に存在する自然の微生物に栄養源を与え活性化させ、汚染を無害な物質へと分解・浄化する。浄化期間は3〜12か月、高濃度汚染にも対応でき掘削の2分の1〜3分の1のコストで行える。下の図のように、地上で駐車場など土地を活用、地下で浄化の同時進行も可能だ



高い技術力を有する一方で、従来「浄化後の土地・不動産活用」の提案がエコサイクルにおける課題の一つであったが、昨年、オリックス(株)と資本提携を行い、連結子会社に。これにより全国70の拠点を持つオリックスの営業ネットワークを活かして顧客への不動産の有効活用、売却等の提案が可能となり、さらにオリックス

次の収益に繋がる提案を

「次」の収益につながる提案を。高い技術力を有する一方で、従来「浄化後の土地・不動産活用」の提案がエコサイクルにおける課題の一つであったが、昨年、オリックス(株)と資本提携を行い、連結子会社に。これにより全国70の拠点を持つオリックスの営業ネットワークを活かして顧客への不動産の有効活用、売却等の提案が可能となり、さらにオリックス



不動産活用に関するお悩みは、**オリックス**にご相談ください。

土壤・地下水汚染の事なら
お任せ下さい!!
調査・対策工事・行政対応
すべて行います。